

# 施設めぐり

災害備蓄庫  
防災危機管理課

TEL 224-5554



宮下備蓄庫（初雁中学校内）

「天災は忘れたころにやってくる」といわれます。市は、万が一に備え、災害備蓄庫などに、物資を蓄えています。備蓄庫には、カンパンやアルファ米などの食料品、毛布や寝袋・強力ライター・乾電池・トイレットペーパーなどの生活必需品、発電機やボールなどの資機材を備蓄しています。このような備蓄庫は、市内に十三か所あり、ここから、それぞれの避難場所へ物資を運びます。このほか、小中学校などの余裕教室を利用した備蓄品保管室を五十五か所設け、災害時に備えています。



しかし、災害の規模によっては、市が備蓄している物資だけでは不足したり、搬送できなかつたりするところも考えられます。そのため、各家庭や個人でも、食料や生活必需品などの持ち出し品を確認し、日ごろから備えをしておきましょう。

## ともに生きる社会をめざして②

人権推進課・TEL 224-5579

このシリーズは、自立生活問題研究所所長・谷口明広（たにぐちあきひろ）さんを招いて行った、人権問題講演会の要旨を人権推進課でまとめたものです。

「お菓子ですよ」と言つて木炭を食べさせた。また違う人には、「これはおいしいよ」と言つて、トウガラシを一本食べさせた。今、現在でもこのようなことが行われているんです。施設での虐待問題は、とつきの昔に片づいていると思つておりました。しかし実態は、いまだにそういう所もあるようです。

どうして、このようなことになるのでしょうか。老人への虐待問題は、国会で「高齢者虐待防止法」が出来ました。その後「障害者虐待防止法案」が、今になって語られています。けれども、いろんなところからの反対があり、なかなか出来上がりません。これは、難しいところですよ。

例えば、施設で知的障害の方をたたく、ける、殴るなどの暴力をふるつてしまう。こんなことは、絶対にしてはいけないことなのです。しかし日本の施設では、長年

それが指導という形で行われてきたわけですよ。指導という名前でも、なぜそういうことが出来るのかというところ、やっぱり障害のある方々は「自分より下だ」という気持ちがあるんですね。やはり、差別の根底があるんですね。誰が一番上なのか、誰が一番下なのか。障害のある方々が、一般の方よりも下だと、どうして証明できるんでしょうかね。

私自身が、ちょうど五十年前に生まれました。まだまだ、障害者差別が当たり前のように行われていました。「差別」という言葉さえ、あまりなかった時代です。なぜかと言いますと、差別は当たり前だったからです。

誰でも老人になるので、老人福祉には理解があるのです。障害者になるとは、誰も思つていらつしやらないのです。

（つづく）

## 知っておきたい

# 税金



問い…昨年8月に住宅を取り壊してさら地にしました。昨年に比べ土地の固定資産税、都市計画税が高くなったのは、なぜですか？

答え…「住宅用地の特例」の適用が解除され、税額が上がったものです。

土地の税金は、毎年1月1日現在の土地の利用状況によって決まります。住宅の敷地には「住宅用地の特例」が適用され、税額が低く抑えられます。一方、住宅を取り壊したままの場合は、この特例が適用されなくなります。「同特例」が適用されると住宅一戸当たり200㎡以下の住宅用地の課税標準額は、固定資産税が価格の1/6（200㎡を超える部分は1/3）、都市計画税が1/3（同2/3）に軽減されます。

問い合わせ…資産税課土地担当・TEL 224-5645

# けんこうモ アルコールと上手につきあっていますか？

保健予防課精神保健担当・TEL227-5102

皆さんは、アルコールの効果には、どのようなものがあると思いますか？

アルコールは、脳の働きを抑制させます。そのため、リラックスさせ、ストレスから解放させるなど、緊張を緩和する効果があります。人間関係を円滑にする、潤滑油にもなっています。

お酒は正しくつきあえば、心身がプラスとなり、人生の良きパートナー

トナーとなります。しかし、「百

薬の長」といわれるお酒も、度を過ぎると体調を崩したり、思わぬ失敗を招いたりします。アルコールを飲み続けることによって絶望感や孤独感を強め、抑うつ状態を作り出し、自殺の引き金となることもあります。

適量とされるアルコールの分量は、ビールなら中瓶一本、日本酒なら一合。酒豪の方は「それだけ

!?」と思われるかもしれませんが、しかし、体内でこの量のアルコールを分解するには、実に三〜四時間を要します。

週二日は「休肝日」を設け、自分のペースで適量をゆっくり飲むことが、楽しくお酒とつきあっていく秘けつです。健康のため、円満な人間関係作りのため、お酒と上手につきあい方を見直しましょう。



川越市地球温暖化対策地域推進計画の重点プロジェクト③では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の少ない快適でスマートな住まい「エコハウス普及促進」を実践します。

住まいの断熱性能が低いと、室温のほとんどが壁や窓から外へ逃げていき、エアコンなどを使用しても効率が悪く、電気代がかかってしまいます。

住まいの省エネ性能を向上させるには、壁の断熱やガラスとガラスの間に、乾燥空気の層を封入した複層窓ガラスの装着もあります。高断熱と高気密が図られたエコハウスは、夏の高温や冬の冷気の影響を受けにくく、室内の温度・湿度が年間を通してほぼ一定に保たれます。

このため、夏はエアコンを少しつけるだけで涼しくなり、冬も少ないエネルギーで室内がすぐに暖まるので、冷暖房機器の効率が上がり、光熱費を大幅に削減できます。また、エコハウスの普及によって、家庭から排出されるCO<sub>2</sub>も大きく削減され、地球温暖化防止につながります。このプロジェクトによるCO<sub>2</sub>削減目標値は、平成24年までに約500tを見込んでいます。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

## Report

# 消費生活レポート 170 「掛け軸」の電話勧誘に「ご」注意ください！

## 事例

「全国であなたが選ばれた」と電話があり、掛け軸の販売勧誘を受けた。断ろうとしたが、「有名な寺院の高僧の直筆」と言われ、「罰が当たる」と脅され、四十万円近くする掛け軸を、契約させられた。寺院へ確認したが、「そのような事実はない」と、虚偽の説明であることが分かった。

掛け軸に関する相談では、契約者の平均年齢が高く、脅されると「いりません」と、はっきり言うことができない人がいます。虚偽の説明をし、消費者が断ると「罰が当たる」と脅すなど、販売方法に問題があることも多いようです。

## 消費者へのアドバイス

- ① 高齢者を狙った、悪質な勧誘が目立ちます。家族や近所など周囲の人が、日ごろから気をつけるようにしましょう
- ② あいまいな返事は、「契約しません」と、きっぱり断りましょう
- ③ 断り切れずに契約してしまったら、家族や生活情報センターにすぐに相談してください

## 消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月25日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター(アトレ六階)

TEL226-7066

(相談専用・TEL226-7476)